

2010 年度報告書（研究員）

氏 名	網中 奈美江
職 位	非常勤研究員（短時間）
<p>研究概要</p> <p>2010 年度は、まず GCOE プログラムの国際共同研究「食の共同圏を支える倫理は何か－産消間の信頼をめぐる親密性と公共性－」で得られた研究成果をまとめた（下記業績リスト “A study on Relationships and Trust in Japanese Teikei Partnerships”）。これは 2008 年度から継続して行ってきた有機農産物の生産者（岡山、兵庫、茨城、神奈川、山形）、生協などの流通業者（東京、山形）、消費者（兵庫）への調査結果に基づくものである。この研究では、現在の日本の有機ならびに減農薬の農産物の「提携関係」を、①消費者組織と生産者組織の結合②個別の消費者と個別の生産者の結合③コミュニティ型の結合、の三種類に類型化し、それぞれの結合において有機農産物の品質への信頼よりも、生産者と消費者の人と人との信頼が重視されていることを明らかにした。</p> <p>2010 年 4 月からは、新たに、上記の研究成果のうちの③コミュニティ型の結合をさらに深化させた形態として、有機農業を中心として内部循環型の生活を送ることを目指すコミュニティ（エコビレッジなど）の研究を開始した。これまで北海道、神奈川、静岡のコミュニティの調査を行い、調査結果の一部は 2010 年 7 月にコミュニティ研究会において報告した。本研究に関しては、2011 年度も継続して調査を行うとともに成果の執筆を行う。</p> <p>また、2010 年度は戸別所得補償制度の導入など農業政策が大きく変化した年であった。そのような担い手・農地政策を中心とする農政の変化と、それに対する農業経済分野の研究の動向についての分析を行った（下記業績リスト「担い手・農地政策 選別政策からの転換と構造改革」）。この分析は政策面のみを取り上げており、今後は個別の農業者がこれらの政策変化にどのような経営上の影響を受けているかの調査も行いたいと思っている。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>“A study on Relationships and Trust in Japanese Teikei Partnerships” in Motoki Akitsu ,<i>What Kinds of Ethics Support Food Communities? : Intimate and Public Relationships between Farmers and Consumers</i>（GCOE 国際共同研究 6）2011 年 1 月</p> <p>研究動向分析「担い手・農地政策 選別政策からの転換と構造改革」『農業と経済』 第 77 巻第 3 号 2011 年 3 月</p> <p>個別報告 Asian Rural Sociology Association</p> <p>“The Development of Farmer-Consumer Direct Relationships in Japan: Focusing on the Trade of Organic Produce” Aminaka Namie, Mokoki Akitsu, 2010 年 9 月</p>	

